

社会資本総合整備計画 事後評価書（案）

計画の名称	あびこのうるおいと安心を支える下水道整備事業の効率的推進（防災・安全）																
計画の期間	平成28年度～平成29年度（2年間）					交付対象	我孫子市										
計画の目標	下水道整備により、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 下水道による都市浸水対策の達成率を63.2%（H28初）から74.7%（H32末）に増加させる。 重要な管渠の延長45.5kmの内、H32年度末までに23.0kmの耐震化または減災対策を実施し、地震対策実施率を22.3%（H28初）から50.6%（H32末）に増加させる。 マンホールトイレシステム設置総数59基の内、H32年度末までに46基を設置し、設置率を13.6%（H28初）から78.0%（H32末）に増加させる。 																
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値			備考			
											当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32(R2)末)	当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。			
①	下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（ha）										63.2%	68.5%	74.7%				
②	重要な管渠の地震対策実施率 重要な管渠のうち、耐震化または減災対策が行われている（km）／重要な管渠の延長（km）										22.3%	39.6%	50.6%				
③	マンホールトイレシステム設置率 マンホールトイレシステム設置済み数（基）／マンホールトイレシステムを設置すべき数（基）										13.6%	50.8%	78.0%				
全体事業費 上段：計画 下段：実績	合計 (A+B+C+D)	1125.8百万円 897.0百万円	A	994.8百万円 756.9百万円	B	—	C	131.0百万円 140.1百万円	D	—	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)		11.6% 15.6%				
事後評価（中間評価）																	
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																	
事後評価（中間評価）の実施体制										事後評価（中間評価）の実施時期							
内部評価により実施した事後評価（案）に対し、市民の意見を反映させるため、パブリックコメントによる意見募集を行う。										令和4年7月							
										公表の方法							
										我孫子市ホームページに掲載							
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）上段：計画 下段：実績					全体事業費（百万円）		備考	
									H28	H29	H30	R1	R2	計画	実績		
A-1	下水道	一般	我孫子市	直接	我孫子市	布佐排水区浸水対策事業	雨水幹線実施設計	我孫子市							247.4	12.6	
A-2	下水道	一般	我孫子市	直接	我孫子市	若松地区浸水対策事業	管渠整備 φ500～1350 L=624m	我孫子市							341.0	260.0	
A-3	下水道	一般	我孫子市	直接	我孫子市	柴崎排水区浸水対策事業	樋管整備 □3500×2000 53m	我孫子市							320.4	438.6	
A-4	下水道	一般	我孫子市	直接	我孫子市	主要汚水幹線地震対策事業	マンホール浮上防止・可とう継手補強 L=5,080m	我孫子市							66.0	36.5	
A-5	下水道	一般	我孫子市	直接	我孫子市	地震対策事業（マンホールトイレシステム）	マンホールトイレシステム 15基	我孫子市							20.0	9.2	
合計												994.8	756.9				
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）上段：計画 下段：実績					全体事業費（百万円）		備考	
									H28	H29	H30	R1	R2	計画	実績		
C-1	下水道	一般	我孫子市	直接	我孫子市	柴崎排水区浸水対策事業に伴う排水路整備事業	管渠整備 U3500×2000～2400 L=140m	我孫子市							125.0	138.1	
C-2	下水道	一般	我孫子市	直接	我孫子市	マンホールトイレシステムに係る資機材等整備	井戸、便器、仕切り施設等の整備	我孫子市							6.0	2.0	
合計												131.0	140.1				

B 関連社会資本整備事業・・・該当なし

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業・・・該当なし

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・浸水被害常襲地区において排水路・極管築造等の浸水対策事業を実施し、都市浸水達成率を63.2%（H28当初）から66.7%（R2末）に増加させたことにより、浸水被害が軽減されている。 ・我孫子市下水道総合地震対策計画に基づき地震対策を進めたことで、震災時の被害軽減が見込まれる。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道による都市浸水対策達成率）	最終目標値	74.7%	目標値と実績値に差が出た要因	実施計画の変更により、実績値が目標値を下回った。
		最終実績値	66.7%		
	指標②（重要な管渠の地震対策実施率）	最終目標値	50.6%	目標値と実績値に差が出た要因	支障物により工事が遅滞した箇所があったため、実績値が目標値を下回った。
		最終実績値	50.3%		
	指標③（マンホールトイレシステム設置率）	最終目標値	78.0%	目標値と実績値に差が出た要因	マンホールトイレの設置は我孫子市下水道総合地震対策計画に基づいて実施しているが、社会資本総合整備計画の期間中に我孫子市下水道総合地震対策計画の見直しが行われ、これに伴う作業によりマンホールトイレ設置工事を見送った年度があったため、実績値が目標値を下回った。
		最終実績値	66.1%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
引き続き、浸水被害常襲地区における計画的な下水道整備及び我孫子市下水道総合地震対策計画に基づく下水道施設の耐震化を進め、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。					

社会資本総合整備計画 事後評価書（案）

計画の名称	あびこのうらおいと安心を支える下水道整備事業の効率的推進（防災・安全）（重点計画）															
計画の期間	平成30年度～令和2年度（3年間）				交付対象	我孫子市										
計画の目標	下水道整備により、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。															
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 下水道による都市浸水対策の達成率を63.2%（H28初）から74.7%（H32末）に増加させる。 重要な管渠の延長45.5kmの内、H32年度末までに23.0kmの耐震化または減災対策を実施し、地震対策実施率を22.3%（H28初）から50.6%（H32末）に増加させる。 マンホールトイレシステム設置総数59基の内、H32年度末までに46基を設置し、設置率を13.6%（H28初）から78.0%（H32末）に増加させる。 															
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値			備考		
											当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32(R2)末)			
①	下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積 (ha) / 浸水対策を実施すべき面積 (ha)										63.2%	68.5%	74.7%	当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。		
②	重要な管渠の地震対策実施率 重要な管渠のうち、耐震化または減災対策が行われている (km) / 重要な管渠の延長 (km)										22.3%	39.6%	50.6%			
③	マンホールトイレシステム設置率 マンホールトイレシステム設置済み数 (基) / マンホールトイレシステムを設置すべき数 (基)										13.6%	50.8%	78.0%			
全体事業費 上段：計画 下段：実績	合計 (A+B+C+D)	3002.8百万円 883.6百万円	A	2993.8百万円 883.6百万円	B	—	C	9.0百万円 0.0百万円	D	—	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)		0.3% —			
事後評価（中間評価）																
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																
事後評価（中間評価）の実施体制					事後評価（中間評価）の実施時期											
内部評価により実施した事後評価（案）に対し、市民の意見を反映させるため、パブリックコメントによる意見募集を行う。					令和4年7月											
					公表の方法											
					我孫子市ホームページに掲載											
1. 交付対象事業の進捗状況																
交付対象事業																
A 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）上段：計画 下段：実績					全体事業費（百万円）		備考
									H28	H29	H30	R1	R2	計画	実績	
A-1	下水道	一般	我孫子市	直接	我孫子市	布佐排水区浸水対策事業	管渠整備 □2200～2500 L=1,087m	我孫子市						1,088.8	177.8	
A-2	下水道	一般	我孫子市	直接	我孫子市	若松地区浸水対策事業	管渠整備 φ600～1100 L=486m	我孫子市						149.4	225.5	
A-3	下水道	一般	我孫子市	直接	我孫子市	柴崎排水区浸水対策事業	樋管整備 □3500×2000 管渠整備 φ3500～2800 L=720m	我孫子市						1,605.6	384.6	
A-4	下水道	一般	我孫子市	直接	我孫子市	主要汚水幹線地震対策事業	マンホール浮上防止・可とう継手補強 L=7,800m	我孫子市						120.0	63.8	
A-5	下水道	一般	我孫子市	直接	我孫子市	地震対策事業（マンホールトイレシステム）	マンホールトイレシステム 23基	我孫子市						30.0	31.9	
合計												2,993.8	883.6			
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）上段：計画 下段：実績					全体事業費（百万円）		備考
									H28	H29	H30	R1	R2	計画	実績	
C-2	下水道	一般	我孫子市	直接	我孫子市	マンホールトイレシステムに係る資機材等整備	井戸、便器、仕切り施設等の整備	我孫子市						9.0	0.0	
合計												9.0	0.0			

B 関連社会資本整備事業・・・該当なし

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業・・・該当なし

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・浸水被害常襲地区において排水路・樋管築造等の浸水対策事業を実施し、都市浸水達成率を63.2%（H28当初）から66.7%（R2末）に増加させたことにより、浸水被害が軽減されている。 ・我孫子市下水道総合地震対策計画に基づき地震対策を進めたことで、震災時の被害軽減が見込まれる。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道による都市浸水対策達成率）	最終目標値	74.7%	目標値と実績値に差が出た要因	実施計画の変更により、実績値が目標値を下回った。
		最終実績値	66.7%		
	指標②（重要な管渠の地震対策実施率）	最終目標値	50.6%	目標値と実績値に差が出た要因	支障物により工事が遅滞した箇所があったため、実績値が目標値を下回った。
		最終実績値	50.3%		
	指標③（マンホールトイレシステム設置率）	最終目標値	78.0%	目標値と実績値に差が出た要因	マンホールトイレの設置は我孫子市下水道総合地震対策計画に基づいて実施しているが、社会資本総合整備計画の期間中に我孫子市下水道総合地震対策計画の見直しが行われ、これに伴う作業によりマンホールトイレ設置工事を見送った年度があったため、実績値が目標値を下回った。
		最終実績値	66.1%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
引き続き、浸水被害常襲地区における計画的な下水道整備及び我孫子市下水道総合地震対策計画に基づく下水道施設の耐震化を進め、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。					